

Nami-Aru? / Internet

「GO OFF AND LICK YOUR WOUNDS!」

文：ジョージ・カックル

初めてのサーフポイントに入るとき気をつけなきゃいけないことはたくさんある。そこに他のサーファーがいない時はとくにそうだ。最初はそのポイントのことは何にも知らないと思った方がいい。だから、そこで少し時間をかけて海と波のことをじっくり見て勉強したほうがいいよ。まずは岩やリップをチェック。水の流れを知るのは大事だよ。もし板を流したら泳がなきゃだめだからね。そして、もちろんサメもチェックしないとね……（笑）

そして波の割れ方をチェック、どこからテイクオフしたらその波をメイクできるか。ドロップがメイクできそうか。セクションは早すぎるか、どこでボールするとか。海に入る前に頭の中でサーフィンをしよう。

もしそこに他のサーファーがいると少しは楽だよ。彼らのライディングを見れば必要な情報は入るよね。

でもラインアップに向かってパドルするときは、いくつかのルールを守ろう。知らないサーファーしかいないときは、まず最初に挨拶しよう。そして、ラインアップの中に入りこまないで、端の方で波を待つべきだ。ましてや1番沖に出て、沖から真っ先に乗ろうなんて考えないほうがいい。ラインアップしているサーファーたちはずっと波を待っているんだから、順番を待とう。そして、自分の番が来たら行け。PADDLE LIKE HELL! 全力を使って波をゲットしないと。波は乗るためにある。初めてのサーファーは絶対乗らないといけないよ。そのローカルたちに見られているからね。

この人はちゃんと乗れるのか、どのぐらいまいのか、ローカルたちはみんな考えていると思うよ。そして、そこでその波をうまく乗れたらその日はその波に乗っていいんだ。

でももし落ちてしまったら、その日はそのラインアップにはもう行かない方がいい。そのローカルは落ちたのを見ているから、波はもう譲ってくれないと思うよ。あたりまえだよ。波の数は少ないんだから、乗れない人にはあげられない。もし、また落ちたらもったいないからね。

俺の友人のWINGNUTにいわれた言葉があるんだ。"GO OFF AND LICK YOUR WOUNDS!"

怪我をした動物が逃げて誰もいないところへ行って、自分の傷をなめる。サーファーも同じだ。その日はどっか別のところに行ってサーフした方がいい。またチャンスはくる。その波を乗れるレベルになってから、もう一度トライしよう。あのWINGNUTだってそうなんだよ。